

## 「京都市定住・移住応援団」ロゴデザイン業務に係るプロポーザル 質問及び回答

質問	回答
募集要項「5 参加資格」の(2)について、京都市内に事業所及び資産を有しない場合であっても、所定の資料を揃えれば本プロポーザルに参加することは可能か。	京都市内に事業所及び資産を有しない場合であっても、「5 参加資格」の(1)又は(2)の条件を満たす方は、本プロポーザルの参加資格を有し、ご応募いただくことが可能です。
募集要項「6 提出資料」の(5)について、写しではなく原本が必要か。また、発行日からの経過日数に制限はあるか。	「6 提出資料」の(5)に定める資料は、写しの提出でも構いません。発行年月日が提出前3箇月以内の資料の提出をお願いします。 ※「6 提出資料」の(4)に定める資料についても、同様の取り扱いとします。
英語表記をロゴ中に含める場合、「京都市定住・移住応援団」は英語でどのように表記すればよいか。	現時点で、「京都市定住・移住応援団」の正式な英語表記については定めがありません。 ロゴデザインの御提案にあたり、英語表記の新設についても合わせて御提案いただくことは妨げないことといたします。
募集要項「12 審査基準」の「デザイン力」において記載のある「他のロゴとの類似性がなく」という条件については、日本国内で使用されているあらゆるロゴ（商標登録されていないものも含む）との類似性ということか。 国内すべてのロゴに対する類似性の検証を行うことは困難であるため、具体的な基準を示していただきたい（現時点で誤認の可能性が想定される団体や組織等があれば示していただきたい）。	募集要項「12 審査基準」の「デザイン力」に記載する「他のロゴ」については、商標登録されていないものは含まないことといたします。 現時点で誤認の可能性が想定される団体や組織等はありません。ロゴの御提案に当たっては、商標権や著作権の侵害に当たらないよう、自身のデザインについて、通常考えられる範囲において検証をお願いいたします。
仕様書「3 デザイン仕様」の(4)において、ターゲット像を「18～39歳の日本国内に居住する男女」としているが、もう少し具体的な特徴を示していただきたい（例：京都市は他の地域と比べて〇〇という特徴があり、〇〇という価値観を持った方に訴求したい等）	京都市では、本市の人口動態について分析を行い、①結婚・子育て期（25～39歳）の近隣都市への転出、②就職期（20～24歳）の東京都を含む関東や大阪府への転出、という人口動態上の大きな課題を抱えていると認識しています。 こうした課題を踏まえ、若い世代から「京都で働き、暮らし、子育てしたい」と選ばれる都市を目指し、応援団が持つアイデアやノウハウをいかし、公民連携で本市への定住・移住の促進に取り組んでおり、仕様書「3 デザイン仕様」の(4)に定めるターゲット像への訴求力が高いデザインを期待しています。
仕様書「3 デザイン仕様」の(4)において、「応援団のことを、明るく、親しみやすい団体であるという印象を受けるようなデザイン」としているが、「明るい」「親しみやすい」以外に応援団を形容する言葉を示していただきたい。	応援団は、各企業・団体等がお持ちのアイデアやノウハウをまちづくりにいかしながら、「京都で働き、暮らし、子育てしたい」と、若い世代から選ばれる都市を目指すものであり、「京都のまちを良くしようとする熱意」や、「人口減少を自分事として捉え、活動いただく自主性・主体性」、「京都で暮らす方、働く方、学ぶ方と共に取り組む協調性」などが考えられます。
「京都市定住・移住応援団」の組織としての在り方で、他の自治体等の事例で参考にされている組織はあるか。	現時点で参考にしている他の自治体等の事例はありません。

<p>ここ10年間における京都市の移住相談の件数推移は。</p>	<p>京都市では、平成28年度に京都市への移住相談に対応する「京都市移住サポートセンター」を立ち上げ、移住検討者からの相談に対応しています。  平成28年度以降の移住相談件数の推移は、以下のとおりです。なお、移住相談は、移住サポートセンターにて対応するものであり、京都市定住・移住応援団が対応するものではありませんのでご注意ください。</p> <p>H28年：431件／H29年：596件／H30年：937件  R1年：775件／R2年：567件／R3年：487件  R4年：621件／R5年：657件</p>
<p>「京都市定住・移住応援団」の認知向上に向けて、イベント開催以外に具体的に取組まれている施策はあるか。</p>	<p>「京都市定住・移住応援団」は令和5年3月に創設した事業であり、現在は京都市情報館及び京都市移住ポータルサイト「住むなら京都」内で取組内容の公表や応援団の募集を行っています。  応援団の認知向上に向けては、各応援団の取組を京都市移住ポータルサイト内で情報発信するとともに、各応援団も各自のホームページ等で応援団としての取組を情報発信いただいています。</p>